

登 録 速 報

農 薬 名：ガンガン豆つぶ250（登録番号：第23535号）

適用拡大登録月日：平成27年8月26日

適用拡大登録内容：

- 作物名「直播水稻」を追加する。
- 作物名「移植水稻」に適用雑草名「オモダカ」、「クログワイ」、「コウキヤガラ」、「シズイ」を追加する。
- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツハイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ	移植後3日～ ルビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	250g/10a	1回	湛水散布 又は 湛水周縁散布
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツハイ ホタルイ ウリカ ミスガヤツリ ハラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ルビエ2.5葉期 但し、 収穫60日前まで			湛水散布

ピリミルファンを含む農薬の総使用回数	フェニルホルムを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内

注意事項の変更：

【追加】

- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないのので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- 直播水稻に使用する場合、以下の点に注意すること。
 - 発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない、稲の1葉期

以降に散布すること。

○稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。

○除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。

【削除】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2. 5葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期までが本剤の散布適期である。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため周縁散布をさけ、本田内で水田全面に散布すること。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 略
- 直播水稻に使用する場合、以下の点に注意すること。
 - 発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない、稲の1葉期以降に散布すること。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上